

しごと部会

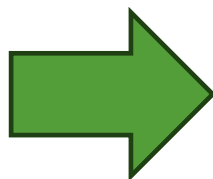
2024年度 全体会議資料

西村	弘文	(特定非営利活動法人サポート歓)
上田	壮広	(社会福祉法人とよおか福祉会)
衣川	勝海	(NPO法人ぷろじえくとPlus)
上崎	良純	(非営利活動法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク)
南	克伸	(兵庫県立出石特別支援学校)
佐藤	杏南	(豊岡市社会福祉協議会)
岡森	吉彦	(豊岡市社会福祉課)
中嶋	亮	(豊岡市社会福祉課)

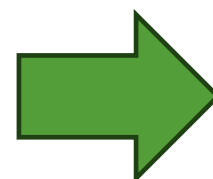
しごと部会が目指すもの

- 企業や地域から出る仕事・作業に関するニーズを集約し、仕事・作業がしたい障害者やひきこもり、生活困窮者につなげる仕組みづくりを検討する

- ・ より工賃の高い作業を見つけたい
- ・ 利用者に合った作業を受注したい
- ・ 長時間働くのはあまり自信がない
- ・ 自宅や空き家の管理、片付けに困っている
- ・ 得意な仕事があるけど生かす機会がない
- ・ 働き手が見つからなくて困っている



(仮称)
しごとセンター
の設立



- ・ 障害者の工賃向上
- ・ 授産作業メニューの拡大
- ・ 就労の機会の増加
- ・ 就労選択の幅の増加
超短時間就労、在宅ワークなど
- ・ 地域の困りごとの解消
除雪、除草、農作業、掃除、買い物等
- ・ 企業の働き手の確保

しごとセンターの機能概要

① 就労系事業所への請負業務コーディネート

企業、地域、行政等から就労系事業所へ依頼したい業務をセンターが開拓・集約。

市内各事業所の希望、体制等に応じて請負先を調整。

→就労系事業所の支援方針や利用者に合わせた作業内容を調整可能、事業所の負担軽減、
市内の人手不足解消

② 対象者個人への作業等マッチング

登録者個人の就労に関する希望や実情に応じた作業等をマッチングする。

→対象者の就労機会の増加、工賃向上、自己理解が深まり就労への意欲醸成

2024年度の取り組み（部会 10回開催）

- ① 既存の社会資源で対応できないかを協議
- ② 社会調査の方法をオンラインで協議（アドバイザー：田垣副会長）
- ③ 既存の就労支援機関の機能と現状の整理
ハローワーク、但馬障害者就業・生活支援センター、若者サポートステーション
- ④ 支援者向けアンケートの対象事業所、内容を検討
相談支援事業所、就労継続支援事業所、就労支援・職業紹介機関、相談機関（生活困窮・若者・ひきこもり等）
- ⑤ 支援者向けアンケートの実施

2025年度の取り組み予定

- ① 支援者向けアンケートの回答の集計
- ② 提言書作成に向けたセンター設立の必要性の整理